

# とともに！

Vol.04  
2021.03

## がん相談支援センターだより

### がん化学療法の話



#### がん化学療法とは

がん化学療法とはがん細胞を攻撃する薬を注射や点滴、内服などで全身に行き渡らせることでがん細胞の分裂、増殖を抑える全身的な治療です。

がん化学療法薬には、細胞障害性抗がん薬、分子標的治療薬、ホルモン薬、免疫チェックポイント阻害薬の4種類があり、手術や放射線などの局所治療と併用することで治療効果を高めます。

かつては入院して行うことが一般的でしたが、最近では副作用対策も進歩したことから、外来で治療することが増えています。

当院の外来治療センターでは医師をはじめ看護師、薬剤師など多職種からなる化学療法チームで、治療をサポートしています。

#### がん化学療法薬

(抗悪性腫瘍薬)



##### 細胞障害性 抗がん薬

がん細胞を攻撃する薬剤だが、がん細胞だけでなく正常細胞にも影響が出現する。

##### 分子標的 治療薬

がん細胞の再生・転移などに特異的に作用する。

##### ホルモン薬

体内のホルモンを調整してがん細胞の増殖を抑える薬、乳がんや前立腺がんの治療に用いる。

##### 免疫チェック ポイント阻害薬

がん免疫へのブレーキを解除し、免疫細胞によるがん細胞への攻撃を回復させる薬。

## 外来治療センター

当院の外来治療センターは、病床数 16 床、火曜日から金曜日の予約制で、医師は曜日ごとの担当制、専任薬剤師 2 名、専任看護師 5 名で投与管理を行い、患者さんが安全・確実・安楽に化学療法が受けられるように体制を整えています。

化学療法前は、医師・薬剤師・看護師で患者さんの情報を共有し、リスク管理を行っています。また、投薬後も副作用症状の判定・評価を行い、全身状態の把握をしています。自宅での副作用管理は自己管理ノートを活用し、副作用を最小限にするためのセルフケア支援を行っています。



患者さんやご家族が治療や副作用と  
うまく付き合っていくために

### がん化学療法看護認定看護師

初めて抗がん薬治療を受けられる患者さんは「抗がん薬＝副作用」というイメージが強く不安に感じられると思います。

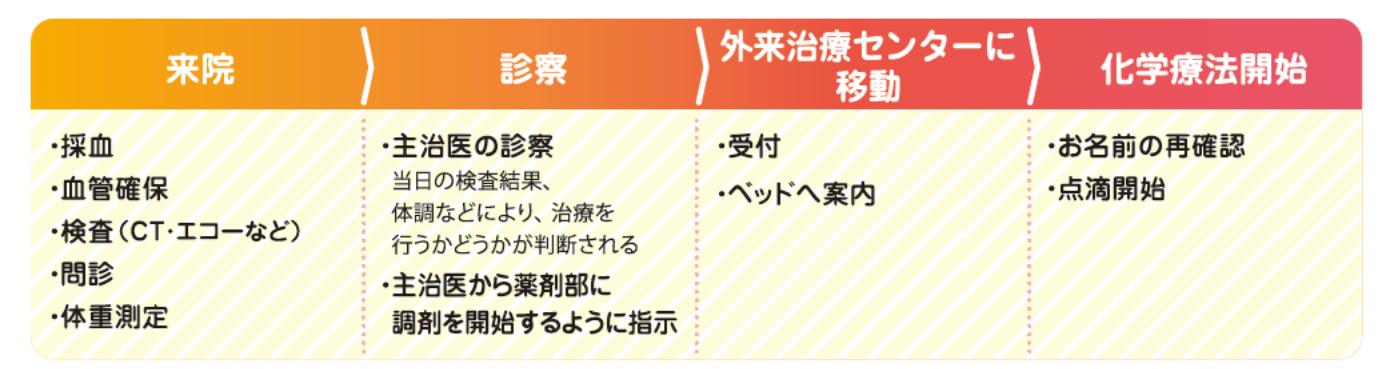
当院では、認定看護師が治療選択における意思決定への支援、患者さんとご家族への心理・社会的支援を行い、QOL（生活の質）の向上を目指したサポートができるよう努めています。化学療法は、あらゆるがん種に対して行われています。また、新しい薬剤の開発や支持療法の進歩により、がん治療において、ますます重要な位置を占めるようになっているため、チームで連携し、質の高い医療・看護を提供していきたいと考えています。

### 治療しながら働くために

がんと診断された患者さんは「治療をしながら仕事を続けると、職場に迷惑をかけるかも…」と離職される方は少なくありません。

ご自身で判断される前に、まずはご相談ください。治療と仕事の両立ができるように患者さんとともに考えていきます。

### 化学療法がある日の診察～治療開始までの流れ



がん化学療法をより安全に  
より効果的に

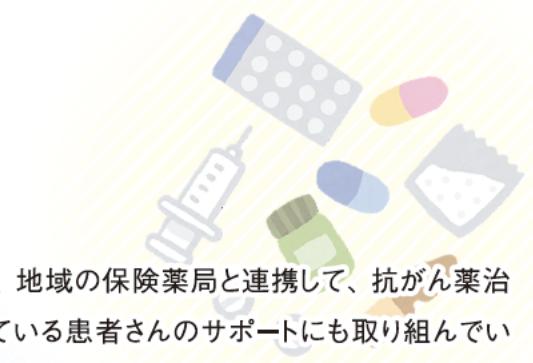
### 外来がん治療認定薬剤師

化学療法では、最も効果的と考えられる薬の組み合わせとスケジュールがいくつか決まっています。これを「レジメン(治療計画)」と言います。がん化学療法におけるレジメンは、治療の安全性と最大限の治療効果を臨床試験で検証し、そのデータをもとに作成されています。

当院の外来治療センターは常駐の薬剤師が点滴の速度や順番に間違いがないか、副作用の症状が強くなっているかなどレジメンに沿ってさまざまな確認をしています。また、医師には必要な情報を速やかに伝え、薬の処方に反映しています。

多職種が協力することで、リスクの高いがん化学療法をより安全により効果的に行うことが可能となります。

2020 年 6 月からは院外レジメン情報を提供できる



体制を整備し、地域の保険薬局と連携して、抗がん薬治療を受けられている患者さんのサポートにも取り組んでいます。



### 保険薬局との連携の仕組み



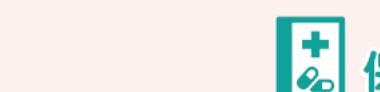
病院

#### 外来治療センター



診察

治療



保険薬局

処方箋と  
レジメン情報など  
を持参



レジメン情報などに  
基づいて服薬指導



薬剤師  
抗がん薬の  
指導・管理

管理栄養士  
栄養食事  
指導

服薬情報提供書  
(トレーシングレポート)  
により報告



医療機関へ  
必要な情報を  
フィードバック

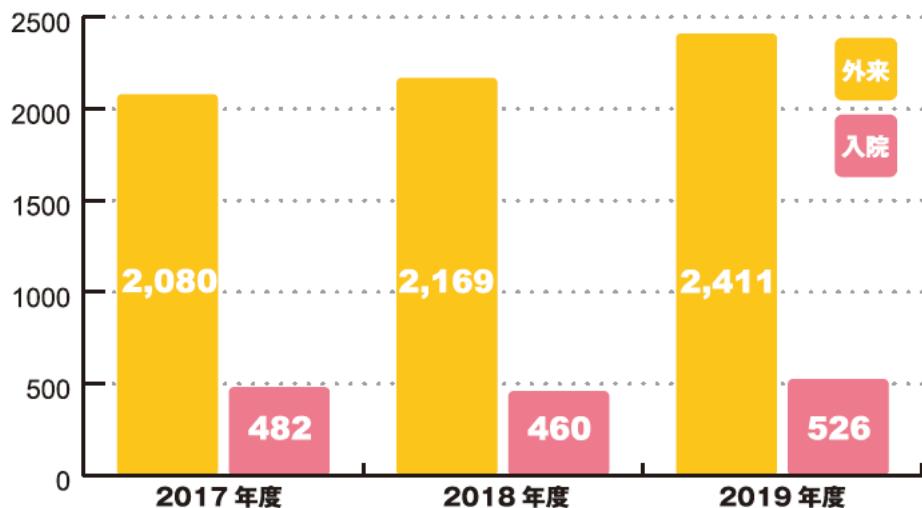
レジメンについては当院ホームページで公開しています▶



# 当院の実績データ

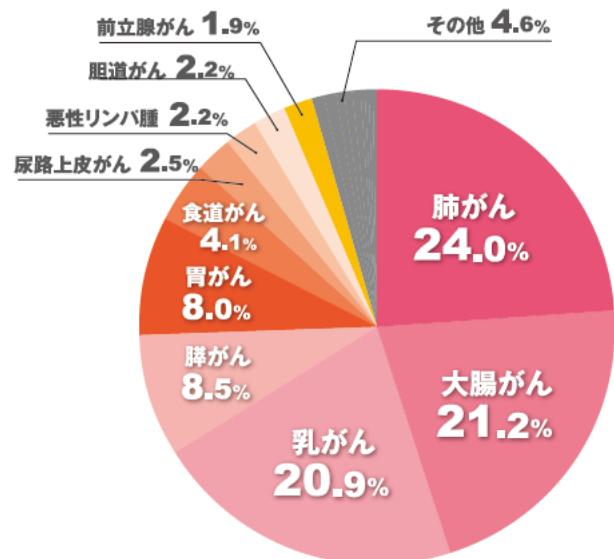
地域のがん医療を担う病院としてあらゆるがん種の治療に対応し、がん化学療法を受ける患者さんは年々増加しています。入院治療と比較すると、外来での抗がん薬治療(点滴)の件数が多いことがわかります。

## 静注抗がん薬治療の年間件数 (単位 / 件)



## 部位別静注抗がん薬治療人数 (2019年度)

● 肺がん	87 人
● 大腸がん	77 人
● 乳がん	76 人
● 膵がん	31 人
● 胃がん	29 人
● 食道がん	15 人
● 尿路上皮がん	9 人
● 悪性リンパ腫	8 人
● 胆道がん	8 人
● 前立腺がん	7 人
● その他	16 人



大切にします  
こころからだ やすらぎを

社会医療法人 岡本病院(財団)

**京都岡本記念病院** がん相談支援センター

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地

TEL

**0774-48-5500**

代表

FAX

**0774-46-7835**

地域医療連携室内

[受付時間] 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時